

拍手喝采の発表会～年中～

11月26日(土)に年中の発表会を開催しました。新型コロナ“第8波”で、福岡の感染者数が増加傾向にあり、お家の人に参観してもらえるかどうかヒヤヒヤしていましたが、無事に実施できて良かったです。年少の時には、コロナ禍のため劇遊びの参観が実施できなかったから、なおさらでした。

年中の先生方が考えた“ねらい”は、「登場人物になってやりとりする楽しさを感じ、クラス皆で喜んで取り組む」ことでした。どのクラスも、①友だちと協力して一緒に活動する楽しさを感じていたこと、②登場人物になりきって、言葉のやりとりを楽しんでいたこと、③最後まで諦めずにやり遂げた達成感や充実感を味わうことが出来ており、ねらいを達成できたと思えました。お見事でした。

■きりん組 「ぐりとぐら」

発行部数 472万部の「ぐりとぐら」は、作者の中川李枝子さんが、「子ども達に、とびっきり上等で美味しいおやつをご馳走し



よう」と考えられたお話のようです。カステラを作り、皆で食べているところが、楽しそうでした。ところで、問題です。「赤」と「青」のどんがり帽子、どちらが「ぐり」で、どちらが「ぐら」でしょうか？

「ぐりとぐら」シリーズ本が、たくさんあります。発行部数の多いものでは、「ぐりとぐらのおきやくさま」(269万部)、「ぐりとぐらのかいすいよく」(182万部)、「ぐりとぐらのえんそく」(158万部)があります。読み広めてみては、いかがでしょうか。

■りす組 「サラダで元気」

お母さんが病気になったら一大事ですよね。「お母さんが元気になるようにサラダを作ってあげよう」と考えた優しい気持ちのあるお話でした。色々な動物がやってきて、



サラダで元気になるようなヒントを教えてくださいました。森の中の動物だけでなく、北極海の白熊さんから電報がきたり、アフリカ象が飛行機に乗ってやってきたり…と、皆で楽しく話を進めていました。

さて、我が家の子どもは、どう考えているでしょ

うか？我が家の子どもに聞いてみましょう。「○○ちゃんだったら、元気サラダに何を入れる？」

クックパッド(クックパッドの回し者ではありませんが)に、絵本「サラダで元気」りっちゃんのサラダレシピがあります。お子さんと一緒に作りながら、会話をすると臨場感を味わうことができると思います。

■うさぎ組 「おなべおなべ にえたかな」

「おなべおなべ にえたかな？」

「にえたかどうか たどだか たべてみよ」のやりとりが楽



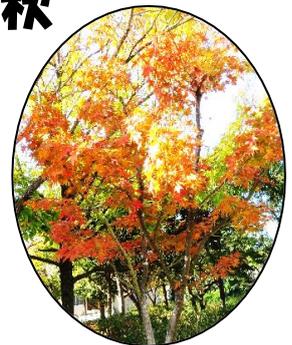
しかったですね。結局、味見をし過ぎて空っぽになった鍋が、焦げ始めたから大変！鍋の指示に従って、皆で水を入れたり、たんぽぽ入りの豆スープを作り上げていったり…チームワークの良さが伝わってきました。

一昨日、年中の先生方が発表会の中で出てきた人参スープを作って教職員にふるまいました。とっても美味しかったですよ。ご家庭でも、作ってみてはいかがでしょう？そういえば、ジャガイモを収穫したら、人参をジャガイモに置き換えて、ポタージュスープもできるかも…です。

～他クラスが発表した絵本も読んでみましょう～

筑女幼稚園の秋

昼間は、11月とは思えない陽気が続いていましたが、さすが12月。一気に寒くなってきました。お子さんの体調管理をよろしく願います。



さて、写真は、百年の森のカエデ(上)と、園庭の桜(下)です。

ニュースでは、京都の清水寺や渡月橋の紅葉がよく流れていますが、筑女幼稚園も、今が見頃になっていますよ。

